

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り Vol.39 —

— ごあいさつ —



地域医療福祉連携室長兼第3緩和医療科長 齊藤 秀典

令和6年能登半島地震で被災された皆様ならびにそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

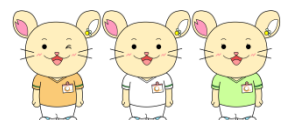
日頃より皆様には患者さんの紹介、逆紹介をはじめ様々な地域連携で大変お世話になっております。新型コロナウイルスも入院患者さんへの面会などにまだ制限はありますが、日常診療への影響はだいぶ小さくなってきた印象です。そのため令和5年度は徐々に対面での地域連携を再開することができました。以下に令和5年度の活動内容を報告させていただきます。

9月には北上医師会(北上医師会 15名、中部病院医師 17名参加)、10月には花巻市医師会(花巻市医師会 18名、中部病院医師 18名参加)との医師懇談会を約4年ぶりに開催することができました。たくさんの方にご参加いただき、和やかな雰囲気の中で連携についての意見を交わすことができました。また花巻市文化会館で市民公開講座を参加人数に制限を設けずに行うことができました。花巻市民を中心に約50名の方にご参加いただきました。11月には中部病院での病院祭を4年ぶりに開催し、約660名の参加があり盛況に行うことができました。同月に第1回地域医療研究会を開催し、ゆかわ脳外科の理学療法士 荒川 大先生に「高次脳機能障害の利用者に対し、園芸療法を行った一症例」、当院 循環器科の石曾根 武徳先生に「地域で心臓を守る～救急システム構築からリハビリまで～」、当院 理学療法士 水野 裕介先生に「当院で開設した心臓リハビリテーション外来について」の発表をしていただきました。オンラインでのハイブリッド開催で会場参加者は35名でした。12月には第1回医科歯科連携研修会を行い和賀歯科医院の和賀 浩幸先生に「金属アレルギー患者の医療連携-歯科の立場より-」という演題でご講演いただきました。こちらもハイブリッドで行いました。オンラインも気楽に参加できるメリットはありますが、実際の来場者がいると演者の先生方もより気合が入り、楽しんで講演していただけたと感じられました。今後も2月15日に第2回地域医療研究会、2月29日に医科歯科連携研修会を予定しております。お忙しいとは思いますが、多数のご参加をよろしくお願いいたします。

これからも地域医療福祉連携室ではスムーズな中部圏域の連携をするための有益な役割が果たせるように努力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

～～ 岩手県立中部病院 理念と基本方針 ～～

- | | |
|------|---|
| 理 念 | 心のかよう患者中心の医療を実践し、地域社会に貢献する。 |
| 基本方針 | <ol style="list-style-type: none">1. 安全で質の高い医療を提供する。2. 医療・保健・福祉施設、行政との協働を推進する。3. 人間性豊かな医療人を育成する。4. 明るく働き甲斐のある職場をつくる。5. 健全な病院経営に努める。 |





特定行為のご紹介 -外科術後病棟管理領域-



私は、2022年に「外科術後病棟管理領域」の特定行為研修を修了しました。現在、外科泌尿器科混合病棟に勤務しながら、特定行為を日々実施しています。特定行為数が15行為と多く、日々色々な場面でタイムリーな処置やケアを実施しています。主に、ドレーンの抜去、動脈穿刺による採血、人工呼吸器の設定調整、PICC（末梢留置型中心静脈カテーテル）の留置の項目を中心に活動しています。特定行為は、医師業務のタスクシフトやタスクシェアが主として見られがちですが、患者さんのアセスメントや看護ケアをはじめ、病棟スタッフの知識・技術向上にも寄与しています。また、医師や他職種との連携も必要となるため、常にチーム医療を意識し業務に努めています。

看護師がタイムリーに特定行為を行う事で、患者さんからは「安心できる」という言葉をいただいたり、医師からは「助かっています」といったような声をかけてもらい、特定行為のニーズがますます高まっていることを実感しています。

今後も、患者さんを中心とした色々な場面での幅広いニーズに応えられるよう活動を行っていきます。

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| ①中心静脈カテーテル抜去 | ⑧胸腔ドレーンの抜去 |
| ②硬膜外カテーテルによる鎮静剤の投与及び投与量の調整 | ⑨創部ドレーンの抜去 |
| ③非侵襲的陽圧換気の設定変更 | ⑩腹腔ドレーンの抜去 |
| ④侵襲的陽圧換気の設定変更 | ⑪高カロリー輸液の調整 |
| ⑤PICC（末梢留置型中心静脈カテーテル）の留置 | ⑫気管内挿管チューブの位置調整 |
| ⑥持続点滴中のカテコラミン投与量の調整 | ⑬低圧持続吸引器の設定調整 |
| ⑦気管カニューレの交換 | ⑭動脈穿刺による採血 |
| | ⑮糖質・電解質輸液の調整 |

作成者：3階西病棟 主任看護師 高橋 洋介

「紹介患者用共通診療申込書」様式を一部変更しました

【変更点】

「画像提供 なし あり」の欄を追加。

- 変更後の様式は「中部病院ホームページ」に掲載しております。
- トップページ→医療機関の方へ
 - 患者ご紹介・検査申込
 - 各種申込書様式
 - 紹介患者用共通診療申込書 [PDF](#) [Word](#)

※「総合花巻病院」、「北上済生会病院」、「岩手県立中部病院」の3病院共通様式ですので、3病院全てにおいて様式が変更となります。

第1回地域医療研究会

2023.11.29 (水)

令和5年11月29日(水)に今年度1回目の地域医療研究会を開催しました。令和元年度から4年ぶりとなった今回は、初の試みでZoomを併用したハイブリッドで実施し、多くの皆様にご参加をいただきました。

一般演題1題、特別講演2題の発表・講演が行われ、普段詳しく聞く機会が少ない分野や新しい取り組みに関心を持っていただいたようでした。演者の先生方、参加者の皆さん大変ありがとうございました。

なお、次回の地域医療研究会は令和6年2月15日(木)の開催を予定しております。町立西和賀さわうち病院 作業療法士による『地域連携パスでのリハビリ目的入院後のその後』の発表、皮膚・排泄ケア認定看護師『褥瘡予防・対策プチスキルアップ』、管理栄養士『褥瘡の栄養管理について』の講演です。ご参加をよろしくお願いたします。

【演題講演】

『高次脳機能障害の利用者に対し、園芸療法を行った一症例』
ゆかわ脳外科 理学療法士 荒川 大 氏

【特別講演】

- ①『地域で心臓を守る ～救急システム構築からリハビリまで～』
第1循環器内科長兼第1救急医療科長 石曾根 武徳
- ②『当院で開設した心臓リハビリテーション外来について』
主任理学療法士 水野 裕介



第1回医科歯科連携研修会

2023.12.21 (木)

令和5年12月21日(木)に、令和5年度第1回医科歯科連携研修会を行いました。今回は、和賀歯科医院長 和賀 浩幸先生より「金属アレルギー患者の医療連携-歯科の立場より-」について講演いただきました。

掌蹠膿疱症に対する治療の例では、口腔内の金属除去だけではなく、歯性病巣の治療により症状が改善することがある等、歯科ならではの情報発信をしていただきました。

参加者からは「歯性病巣治療の重要性がよくわかった」、「患者様の不安に寄り添う知識をアップデートするいい機会になった」等の好意的な感想を多くいただきました。

次回、第2回医科歯科連携研修会を令和6年2月29日(木)に開催します。当院皮膚科医長 荒川伸之が講師となり「金属アレルギー患者の実際-皮膚科の立場より-」の講演となります。皆様のご参加をお待ちしております。



新任医師紹介 ※令和5年12月以降に着任した医師をご紹介します。



氏名	攝田 典悟 (せった けんご)
診療科・職名	脳神経外科・脳神経外科医長
学会資格等	日本脳神経外科学会 (認定脳神経外科専門医) 日本脳卒中学会、日本血管内治療学会、 日本脳循環代謝学会、日本脳神経外科コンgres
ひとこと	よろしく申し上げます。



氏名	北村 佐和子 (きたむら さわこ)
診療科・職名	血液内科・医師
学会資格等	日本内科学会、日本血液学会
ひとこと	岩手医科大学より参りました、北村と申します。力不足ではございますが、日々の診療に尽力させていただきます。何卒よろしくお願いいいたします。

【治療と仕事の両立支援 出張相談窓口 (産保センター) のご案内】

予約制

相談日：毎月第3水曜日 10時～12時半
場所：えぐなるプラザ
相談費用：無料

【今年度相談日】
2月21日 (水)
3月6日 (水)
※変更後

病気や仕事の両立のことで悩んだら**専門家**に相談できます

- 会社に病名や病状について、どこまで話したらよいか分からない
- 病気のことを正直に話すと解雇されるのではないかと悩んでいる
- 復職後に職場の理解や協力が得られるか心配
- 仕事と治療の両立ができるか不安
- 他の患者さんはどうしているのか知りたい

「岩手産業保健総合支援センター」の両立支援促進員が来院し、患者さん等からの相談に無料に対応しておりますので、ご相談したい場合は、下記担当までご連絡ください。

【両立支援相談窓口】 えぐなるプラザ (患者・家族支援センター)
医療ソーシャルワーカー



発行：岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室
〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地
TEL 0197-71-1511 (代表) 0197-71-1518 (連携室直通)
FAX 0197-71-1881 (連携室専用)
URL <http://www.chubu-hp.com/>



発行：2024年2月